

3 月号

# ひだまり

わかくさこども園



2024.3.1



ゆきのふしぎ



(2024.2.8)



つめたい、とける  
〇。〇。〇。〇。〇。〇。

しろい、ちゃいろい  
〇。〇。〇。〇。〇。〇。

かたい、やわらかい  
〇。〇。〇。〇。〇。〇。

かたまる、くずれる  
〇。〇。〇。〇。〇。〇。

こおり、みず  
〇。〇。〇。〇。〇。〇。

なげる、なげられる  
〇。〇。〇。〇。〇。〇。

ふわふわ、ぎくぎく  
〇。〇。〇。〇。〇。〇。

まるめる、のせる  
〇。〇。〇。〇。〇。〇。



## 3月の予定

【幼稚園・午前保育】

11日（月）～13日（水）,15日（金）

5日（火）避難訓練

8日（金）お別れ会

14日（木）卒園式（※幼稚園休園）

15日（金）修了日

16日（土）～4月10日（水）幼稚園春休み

\*8日（金）お別れ会\* 卒園前に年長と在園児と一緒に遊んで特別ランチを食べる日です。

# なんでもない日の、子どもたちのこと

わかくさの今とこれから。子どもたちのことを思いつくまに。

園長 習田 和正



## 鬼は外のいろいろ



我孫子では珍しい(?) 警報級の降雪で、雪かきから始まった2月。親子ふれあいdayやお楽しみ発表会、体操参観と、保護者のみなさんにもご足労いただき、この一年間に積み上げてきた子どもたちの成長や日常に触れていただく月にもなりました。

お忙しい年度末、ご協力ありがとうございました。

2月と言えば、節分の月でもあります。ご家庭でも、豆まきや恵方巻きを楽しまれましたでしょうか。2月1日には、園でも子どもたちと節分を行いました。

こむぎ・ゆずはさんたちは、手作りの節分グッズを使って、鬼に扮した先生たちに鬼は外。節分の意味は分からなくても問題ありません。「おに」という怖い存在に、新聞紙を丸めて作った豆で「えいっ」。楽しみながら、自分たちの力でやっつけます。

ももはなとふじの節分は、「自分の中にいる鬼をやっつける」日。この日のために用意した自作の豆で、「泣き虫鬼」や「わがまま鬼」を退治しました。



みそらにいたっては、「自分たちが鬼になる!」と、やる気満々。小さい子のために「倒されてあげる」という、俳優さながらの演技を見せてくれた、心優しいお兄ちゃんお姉ちゃんたちでした。



## みそらの動物園



みんなの願いが天に届いたのか、2月16日は遠足日和になりました。緊張していた電車の乗り換えもばっちり、目的地「上野動物園」に無事到着。見ると決めていた動物たちをたくさん堪能することができた、大満足のお別れ遠足になりました。





後日、ふとクラスをのぞいてみると、真剣に机に向き合う子どもたちの姿が。どうやら廃材を使って、何かを作っているようです。



「できたよー！」と知らせてくれて、ランチホールに行ってみると、そこにはみそらの動物園ができあがっていました。

ながーい首や小さな体には、動物たちが生きていくための理由があって、その理由も一緒に探しながら動物園を歩いたわけですが、それぞれの作品をよく見てみると、子どもたちがどの動物の、どの部分に心を動かされたのかがよく伝わってきます。中には、自分のイメージーションと合体してできたような作品もあって、これはこれで面白い。

いずれにしろ、遠足前からよく考え、よく想像し、動物園ではよく観察してきたからこそできた作品たち。しばらくは、ランチホー

ルに展示してあります。ぜひ、のぞいてみてください。



## 続・夏みかん

先月号に書いた夏みかんの話の続きを、少しだけ。

キッチンの栄養士さんが夏みかんで甘煮を作ってくれたので、お礼もかねて、いただいたお宅に届けに行くことに。するとまた、どっさりとみかんをいただいたので、みかんの観察会をすることにしました。

輪切りにして断面を確かめたり、みかんを剥いた時の皮の匂いを嗅いでみたり。みかんの世界のいろいろに触れました。



## 保健だより

4月からの進級、進学に向け、子どもたちがワクワクしている様子が見られます。あっという間に1年も終わりですね。病気やけがに気をつけ、残りの日々も楽しく過ごしましょう。

今月のテーマは、窒息等の事故につながる子どもの「誤飲・誤嚥」です。例えば、子どもの遊びにとって必要なおもちゃですが、目を離した隙に誤って飲み込んでしまったら…。ご自宅でも注意できるポイントをお伝えします。

### ～遊ぶとき～

- ・小さな子の口の大きさは直径39mm（トイレットペーパーの芯の穴）くらいとされています。これより小さいものは、誤飲や窒息の原因になる可能性があります。小さなものは、こどもの手の届かないところに保管しましょう（特に3歳以下）。また小さいおもちゃで遊ぶときは目を離さないようにすることも大切です。
- ・つるん、ころんとした形状は、大きさ関係なく誤飲のリスクが高くなります。
- ・水で膨らむおもちゃは何倍にも膨れるため、誤って飲み込んだらお腹の中で膨れてしまいます。使用する際には注意しましょう。



### ～食事中～

- ・子どもは、歯の生え変わりの時期も誤嚥のリスクがあります。噛む力、飲み込む力に合わせて小さく刻むなど大きさを調整します。
- ・おもちゃ団子、グミなどの粘性の高いもの、ぶどうやミニトマトなど球状でつるつるしたものは、子どもに合わせて小さく切って提供しましょう。切り口が円になっている場合も注意が必要です。
- ・食事中びっくりするようなことをしない、食べ歩きをしない、正しい姿勢で食べるのも大切です。

また、誤飲事故で多いものはたばこ、医薬品、プラスチック製品やおもちゃです。日常生活の中でもこれらのものを子どもの手が届く場所に置かないよう注意しましょう。



### ○保健だよりのテーマを募集しています○

毎月の保健だよりには、なるべく皆さんに知ってもらいたいことや興味のあることを載せていきたいと思っています。「こんなことを知りたい！」などのご意見も大歓迎です。何かありましたら、ぜひ藤井まで。お待ちしております♪



看護師・藤井 佑季



### 3月 保健の予定

- |       |         |      |
|-------|---------|------|
| 5日（火） | ふじ・みそら  | 身体測定 |
| 6日（水） | ももはな    | 身体測定 |
| 7日（木） | こむぎ・ゆずは | 身体測定 |

わかくさこども園

wakakusa kodomoen